

科目名	公衆衛生看護方法 I (対象別支援・保健指導論) Public Health Nursing I		担当教員 (研究室番号)	中北裕子 (404) 清水真由美 (408) 荻野妃那 (409) 根本真理子 (409) 一尾麻美 (409)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	2年次 後期	科目 区分	専門科目・広域看護学		選択 区分	必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
											オープン クラス	否
科目 目的	地域を構成する人々の健康課題を包括的に捉え、保健活動を行っていくために必要な保健施策の動向、関係法規を学ぶ。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。(思考・判断)										
	関連するDP	B 人々の生活に根差した看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解) D 様々な職種との連携において、看護専門職者としての役割を理解し、多職種による協働活動に参加できる。(技能・表現)										
到達 目標	1. 保健指導の対象別保健施策の動向を理解できる。 2. 保健指導の対象別保健施策の関係法規を理解できる。											
成績評価方法 (基準)	試験(85%)、レポート(15%) ※授業の3分の2以上出席していない者は受験資格がありません。											
再試験の有無と 基準等	科目の可否で不合格となった者は、当該学生からの申請があれば再試験(筆記試験)を実施します。											
教科書	標準保健師講座 第3巻 対象別公衆衛生看護活動(医学書院) 標準保健師講座 第2巻 公衆衛生看護技術(医学書院)											
参考書等	最新保健学講座別巻1健康教育論(メヂカルフレンド社)、健康格差社会(近藤克則)、健康教育ナビゲーター(渡邊正樹)、公衆衛生がみえる(MEDIC MEDIA)他、必要に応じて適宜紹介します。											
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と学生 への期待	疾病構造や社会環境の変化の中、健康な地域づくりが重要な課題となっており保健師活動における予防の重要性が強く謳われ期待されています。保健師の仕事は応用が必要で創造的なものですが、基本がおろそかでは応用的な課題(特に潜在的な健康課題)に対応できないと考えます。保健福祉動向や関係法規を毛嫌いせず、実践に活用できるよう積極的に授業に望んでください。											
備考	公衆衛生看護学概論を修得していないと履修できません。 本科目は公衆衛生看護方法Ⅲ・Ⅳの先修条件となっています。											
回	学習項目				学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	母子保健の保健医療福祉動向				母子保健医療福祉の動向、健康課題と支援について学ぶ。				中北	講義		
2回	母子保健の関係法規				母子保健関係法規と施策(制度)の関連、母子保健行政の体系について学ぶ。				中北	講義		
3回	成人/高齢者の保健医療福祉動向(1)				成人保健医療福祉の動向を学び、成人保健にける健康課題と支援について学ぶ。				荻野	講義		
4回	成人/高齢者の保健医療福祉動向(2)				高齢者保健医療福祉の動向を学び、高齢者の健康課題と支援について学ぶ。				荻野	講義		
5回	成人/高齢者の関係法規 歯科保健の動向				成人/高齢者の保健関係法規と施策(制度)の関連について学ぶ。 歯科保健の動向を学ぶ。				荻野	講義		
6回	精神、障がい児・者の保健医療福祉動向と関係 法規				精神保健医療福祉の動向、障がい児・者保健医療福祉の動向、関係法規 と施策(制度)の関連について学ぶ。				一尾	講義		
7回	難病の保健医療福祉動向と関係法規				難病保健医療福祉の動向について学ぶ。 難病保健関係法規と施策(制度)の関連について学ぶ。				根本	講義		
8回	感染症の保健医療福祉動向				感染症(主に結核・HIV感染症)対策の動向について学ぶ。				一尾	講義		
9回	感染症の関係法規				感染症(主に結核・HIV感染症)保健関係法規と施策(制度)の関連に ついて学ぶ。 予防接種について学ぶ。				根本	講義		
10回	保健指導(1) (保健指導技術)				保健指導の目的と定義及び分類を理解する。 援助者の対人支援の基本について理解する。				中北	講義		
11回	保健指導(2) (健診/検診における健康相談)				健診/検診の目的、特徴・方法について理解する。 健康相談の特徴・方法、支援の展開について理解する。				中北	講義		
12回	保健指導(3) (家庭訪問)①				家庭訪問の法的根拠、訪問の目的、特徴・方法、支援の展開について学 ぶ。				中北	講義		
13回	地域組織活動 地域ケアシステムの構築とネットワーク化				グループの理解と健康課題への支援、グループ支援の特徴・方法と地域 組織活動について学ぶ。 地域診断に関わる理論(主に集団/地域住民に着目したコミュニティ・ア プローチ)を理解する。 地域ケアシステムの構築と評価について理解する。				中北	講義		

14回	保健指導（5） （健康教育）①	保健行動の理解とアセスメントに基づく支援について学ぶ。 保健行動に関する理論、健康段階別保健行動、目的別保健行動、理論・モデルを用いた保健行動を学ぶ。 健康教育の特徴・方法を学ぶ。	清水	講義
15回	保健指導（6） （健康教育）②	健康教育の特徴・方法、支援の展開について学ぶ。 健康教育計画書の内容や書き方、留意事項を理解する。 グループワークを通して、事例に対する健康教育のテーマ、目的、目標などを作成する。	清水	講義

学 習 課 題

2年生前期に学習した「保健福祉行政論」「公衆衛生看護学概論」の各自でまとめているノートは、本科目受講時に持参してください。

（講義前には、必ず、保健福祉行政論、公衆衛生看護学において、関連する基礎知識を再復習してください。）

課題提出：2回目、5回目、6回目 （課題作成ではパソコンを使用します。）

実務経験を活かした教育の取組

- ・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。
- ・行政機関等において保健師として実務に携わった教員が指導する。